

共生社会に向けて

【大田市立第三中学校】

ねらい

講演を通して障がいやパラ競技、そして共生社会への理解を深める。

いつ

令和2年11月19日(木)

どこで

大田市立第三中学校 会議室

だれが

生徒(全校:13名) 教職員(12名)

※講師…山田隼平氏

[パナソニック吉備 所属]

なにを

○パラスポーツ(カヌー)に関する講演

概要

- ・パラカヌーの体験談を聴き、パラリンピックの理念や価値を学ぶとともに、東京大会への興味関心を高める。
- ・講師の生き方にふれ、人々の多様な在り方を相互に認め合える社会について考える。
- ・今回の学びを今後の学習につなげ、福祉教育、人権同和教育の推進につなげる。



生徒は、パラカヌーでパラリンピック出場を目指している講師からパラスポーツとの出会い、車いすでの生活、今後の夢などについて話を聞いた。「日常生活の大抵のことは自分の力ではできる。障がいは自分の個性である。」「カヌーの魅力は、健常者も障がい者との壁がなく、水の上で一緒に競技ができる。また、スピード感を楽しむことができる。」という講師の話に生徒は頷きながら、真剣に耳を傾けていた。講師が車椅子を使った体幹トレーニングを披露すると、腹筋でバランスをとる姿に釘付けとなった。最後に生徒代表が「山田さんは、障がいを個性として受け入れている。『障がい』という言葉がなくなり、誰もが一緒に生きていければと思う。」と感想を伝えた。講師の生き方にふれ、共生社会構築について学ぶことができる機会となった。